

2025 年 6 月 23 日

九州実務補習所
2024 年 期 生 各位

一般財団法人会計教育研修機構
九州実務補習所運営委員会

第5回ディスカッションテーマについて

2025 年 7 月 9 日(水)開催

2025 年 7 月 9 日（水）に開催する「第 5 回ディスカッション」のテーマが、下記のように決定いたしました。

記載のテーマを読み、各自の考えをまとめてくるようにしてください。
なお、関連資料は各自で集めてくるようにしてください。

テーマ 1（フリーディスカッション）

トランプ大統領は、大統領選の公約として「大統領となり、デジタル資産の導入を加速させ、米国を暗号資産の中心にする」と表明しています。もし、米国を中心に暗号資産の規制が緩和され、企業の活用が進んだ場合、監査業務にはどのような影響が生じるのでしょうか？
以下の観点から、公認会計士としての対応について直近の会計・監査に関連する公表物を踏まえたうえで議論してください。

1. 財務報告と評価方法 - 暗号資産の適切な会計処理・監査手続
2. 不正リスクと内部統制 - マネーロンダリングや不正会計のリスク
3. 監査手法の進化 - ブロックチェーン技術を活用した新たな監査の可能性

テーマ 2（グループ討論）

日本製鉄がアメリカの大手鉄鋼メーカーUS スチールの買収にあたって当事者間での買収合意はあったものの、最終的には、安全保障上の懸念から当時のバイデン大統領の判断に委ねられることとなり、大統領命令によって買収阻止に至っており、現時点でも買収は容認されていない状況である。このように安全保障上の懸念が要因と言われているが、市場経済における相対取引である企業間の M&A に対して政府が関与することについて下記の論点を考慮しながら、会計の専門家としての立場で議論してください。

- ・市場取引における取引公平性
- ・自国産業の保護
- ・技術流出への懸念
- ・グローバルな競争力の強化
- ・従業員及び関連するステークホルダー

A 案：政府関与に賛成

B 案：政府関与に反対

テーマ 3（グループ討論）

1 班

日本企業は年功序列を維持すべきか。

A 案：年功序列を維持すべき

B 案：年功序列を撤廃すべき

< 作問の趣旨・背景 >

長らく日本企業では、バブル経済が崩壊する 1990 年代まで雇用制度といえば、年功序列というのが主流の考え方であった。ただバブル経済が崩壊し、日本企業のグローバル競争力が低下した現在、その原因を年功序列に求める意見が少なくない。

特に、Apple や Microsoft、Tesla といったグローバル競争力の高い企業の多くでは、完全な実力主義（成果主義）を採用している現状がある。

そこで様々なキャリア・バックグラウンドを持つ人々が、一堂に会するこのディスカッションという場で様々な意見を出し合い、雇用制度について議論し、今後の働き方について考えるきっかけにしたいと思い、テーマ設定を行った。

2 班

企業の会計不祥事に“内部告発報奨金制度”は日本でも導入すべきか？

A 案：導入すべき

B 案：導入すべきでない

<作問の趣旨・背景>

アメリカでは、SEC（証券取引委員会）の下で内部告発者に対する報奨金制度（例：罰金回収額の10～30%）が存在し、実際に数億円単位の報奨金を得る告発者もいる。日本では現行制度上、公益通報者保護制度があるものの、報奨制度は未整備である。

企業の不正が巧妙化する中で、会計不正を防止、発見するために内部告発報奨金制度は有効かどうかを議論する機会とした。

3 班

あなたが福岡で新居を購入するとしたらマンションと戸建てどちらの方が良いか。

下記の【前提条件】を考慮して、A 案と B 案について考えなさい。

A 案：マンション

B 案：戸建て

【前提条件】

年齢：35 歳

家族構成：本人、配偶者、子（2 人：4 歳、1 歳）

想定世帯年収：1,000 万円

エリア：姪浜エリア

部屋タイプ：将来を考え、子供は独立した部屋を確保できるようにする。

また、仕事部屋として自身の小さくても書斎部屋が必要。夫婦の寝室として1室確保。

物件金額：4,500 万 ただし、マンション（建物・敷地権）と、戸建て（建物・土地）はいずれにしても同額を条件とする。

資金：住宅ローンを原則とする。頭金については補習生の自由だが、上限は1,000万円までとする。

ローン金融機関：金融機関は、メガ銀行、地場銀行、ネット銀行の分類から選択を行う。

ローン金利：変動 利率はディスカッション時点のものとする。

ローン期間：30 年とする。

繰り上げ返済：有

<作問の趣旨・背景>

住居の話題になると専ら賃貸か購入かについて議論される。

しかし、一概に購入といってもその中でもマンションか戸建てかといった選択肢がある。

そこでその2択について、住みやすさは勿論、長期的な視点でどちらがより金銭的にお得かを、

地価や金利等の諸要素の変化を踏まえてディスカッションすることで、将来の意思決定の参考になればと考え、このテーマに設定した。

※ レポーターは、論点整理をしたレジュメをA4用紙1枚程度で作成して、7月3日（木）までに事務局へ1部提出すること。（FAXでもメールでも構いませんが、メールの場合は **word 形式** で提出すること。）

※ レジュメには、補習生番号、氏名、班、テーマ（2か3か）、派（A案派かB案派か）、を必ず記載すること。

※ レポーターは、ディスカッション当日に**班人数分＋運営委員2名分（最大17部）**を用意してくること。

（事務局のコピー機を使用する場合は、原稿を1枚持参のうえ、時間に余裕をもって来ること。）

※ レポーターから提出されたレジュメを、ディスカッション当日を含む直前の3日間、九州実務補習所WEBサイトに掲示する。（掲示する際は氏名及び補習生番号は削除します。）

各班ごとにテーマ2（A案・B案）、テーマ3（A案・B案）があるため、確認するレジュメを間違えないように注意する。

【レジュメ提出先】

九州実務補習所 事務局

F A X : 0 9 2 - 7 1 5 - 3 6 6 4

M a i l : hokubuk-hosyu@sec.jicpa.or.jp

注 意：レポーターでディスカッション当日に出席出来ない事がわかっている場合、必ず出席する補習生と交代するとともに、その旨を事務局に連絡すること。

尚、レポーターが無断欠席した場合、既に取得した実務学習単位から3単位を減ずる場合があるので注意すること。